



『レントゲン検査の放射線は危険なの？』



しもじ内科クリニック
院長 下地栄壮

様々な病気を調べる際にレントゲン検査や CT 検査は欠かせません。しかし、放射線の被ばくが心配という方もおられるのではないのでしょうか？医療放射線検査の被ばく線量はどの程度なのか気になると思いますので調べてみました。

日常生活の中でも私たちは知らず知らずのうちに放射線を浴びています。宇宙や大地、食物、空気など自然放射線から受ける被ばく線量は年間で約2.4ミリシーベルトです。

また、飛行機搭乗時の被ばく線量は、東京～ニューヨーク(往復)約 0.1～0.2 ミリシーベルト、東京～沖縄(往復)約 0.02～0.03 ミリシーベルトです。高高度を飛行する国際線の被ばく線量は多く、低高度を飛行する国内線は被ばく線量が少ないことが分かります。



自然放射線から受ける被ばく線量	約2.4ミリシーベルト/年間
東京～ニューヨーク(往復)	約 0.1～0.2 ミリシーベルト
東京～沖縄(往復)	約 0.02～0.03 ミリシーベルト

それでは、医療放射線検査の被ばく量(1 回あたり)はどの程度なのでしょう？

胸部レントゲン検査	約 0.05～0.1 ミリシーベルト
頭部 CT 検査	約 1～2 ミリシーベルト
胸部 CT 検査	約 5～7 ミリシーベルト
腹部・骨盤 CT 検査	約 8～14 ミリシーベルト
PET 検査	約 2～5 ミリシーベルト
PET-CT 検査	約 10～25 ミリシーベルト

※胎児に奇形や中枢神経障害などの影響が出るのは 100m シーベルト以上の被ばくからとされており、一般的な医療放射線検査は妊婦でも安全とされています。

※環境省の報告によると、**がんリスクが上昇する被ばく量は 100～200mシーベルト以上**であり、PET-CT 検査を含め医療放射線検査の被ばく量はそれよりも少ないために安全です。



お知らせ

10月1日～インフルエンザ予防接種を行っています。今年は流行が早いので、接種希望の方は早目に接種することをお勧めします。当院では予約なしで接種しておりますので受付にお声かけ下さい。



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦 3 丁目 2-49(福岡銀行美和台支店隣り)
TEL:092-605-6300